

－ HS032:HL7 CDA に基づく退院時サマリー規約－

医療情報標準化推進協議会  
HS032審査委員会

標記について、ホームページ等を通じてご意見を募集しました。  
お寄せいただいたご意見等に対して、申請元に見解を確認しました。確認した結果について医療情報標準化推進協議会審査委員会として了解しましたので、ご報告いたします。  
今回、御意見をお寄せいただきました方々の御協力に厚くお礼申し上げます。

ご意見	ご意見に対する回答
<p>1. プロブレムリストの記載について プロブレムリストの記載の順序は、電子カルテ等でマニュアルにて順番の変更をできるが、仕様にあるような順番で必ずしも書かれなため以下のように対応することを提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>49 ページ 8 行目「入院の主たる対象となった病名を #1 として筆頭に記載し、」を削除する。</li><li>49 ページ表 A1 で、発生時期には空白を設けることを許す。また、コメント欄には推定される発症の時期などの記載を許す。</li></ul>	<p>附属書部は <b>Informative</b> で推奨書式を示しており、制約をすることは本質ではないので、提案通り現場で支障があるところは削除及び修正しました</p>
<p>2. 既存症の定義がないことについて 既往症、既往歴の解釈で問題が出ていますと考えます。仕様に以下のように修正を加えることを提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>既存症について緩やかな定義として記述を設ける。</li><li>36 ページ 1 行目：「既往歴は慢性期疾患や・・・」の記述から「慢性期疾患や」を削除する。</li></ul>	<p>指摘通り削除しました 既存症の明確な定義はないが、既往歴、慢性疾患と区別出来るように以下のように定義しました。 既往症は、過去に罹患し現在は治癒している疾患であり、既往歴はその疾患に関する病歴となる。一方既存症は以前に罹患し今も症状が続いている疾患とします。</p>

<p>3. バイタルサインについて バイタルサインが検査結果と同列に書かれているため誤解が生じていると思われます。以下のように修正することを提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 53 ページ:「A9（検体・画像・生理・病理）検査結果・バイタルサイン」から「・バイタルサイン」を削除する。合わせて目次の対応する記述から「・バイタルサイン」を削除する</li></ul>	<p>附属書部は <b>Informative</b> であくまで参考例であるが、誤解されないよう指摘通り削除しました</p>
--	---

意見公募公示日：平成 30 年 12 月 28 日

意見受付締め切り日：平成 31 年 1 月 28 日

標準化委員会承認日：令和元年 5 月 16 日

結果の公表日：令和元年 7 月 28 日